

グッドモーニング バビロン!

20世紀のバビロン
光あふれる若きハリウッドで
青春の夢を生きぬいた兄弟
映画への愛をこめて贈る感動の傑作!



1987年カンヌ国際映画祭
審査外特別招待作品



パオロ&ヴィットリオ・タヴィアーニ兄弟
監督・脚本作品

GOOD MORNING
BABILONIA

フランス映画社配給
パウ・シリーズ作品

監督・脚本 パオロ&ヴィットリオ・タヴィアーニ ● 脚本協力 トニーノ・グエッラ ● 原案 ロイド・フォング(エル) ● 撮影 ジェズベッラ・ランチ ● 美術 ジャンニ・ニズ・バツ ● 衣裳 リーナ・ネルリ・タヴィアーニ ● 振付 ジョー・ランティ ● 録音 カロ・バルミエリ ● 音楽 ニコラ・ピオヴァーニ ● 編集 ロベルト・ベルビニャーニ ● 記録 カルラ・ヴェッソーニ・タヴィアーニ ● 製作主任 グラツィア・ヴェルビ ● 合作プロデューサー (フランス) マリー・カールミツ ● エグゼクティブ・プロデューサー エドワード・プレスマン ● 製作 ジュリアーニ・G・チ・ネグリ ● ヴィンセント・スパーノ ● ジョアキム・デ・アルメイダ ● グレタ・スカキ ● テジ・レベッケル ● オメロ・アントヌッティ ● チャールズ・ダンス ● イタリア映画 (伊=仏=米合作) ● 1987年 FILMTRE+RAI Radiotelevisione Italiana(ローマ)+MK2+FILMS A.2(パリ)+EDWARD PRESSMAN FILM CORPORATION(ロサンゼルス)製作 ● SACIS世界提供 ● イーストマンカラー ● ヴィスタサイズ(1×1.66)

グッドモーニング・バビロン!

●1987年カンヌ国際映画祭審査外
特別招待作品



パオロ&ヴィットリオ・タヴィアーニ監督作品

GOOD MORNING
BABILONIA



フランス映画社配給
パウ・シリーズ作品

グッドモーニング・
タヴィアーニ兄弟!

あふれるユーモア、イタリアの土と歴史のにじむ人間愛、流麗で劇的な音楽はこびと壁画のように壮大で詩的な画づくり。タヴィアーニ兄弟の「父」パードレ・パドロネ、「サン・ロレンツォの夜」、「カオス・シチリア物語」でおなじみの魅力ある特徴にくわえて、「グッドモーニング・バビロン!」は、イタリアの、11世紀以来のロマネスク建築を伝統とするトスカナ地方から、今世紀はじめにハリウッドに渡って、映画の誕生期に心おどる冒険と愛の青春を生きた兄弟が、ついには第一次世界大戦で戦死する物語を、快活なテンポとスケールの大きいほこびと、忘れられない数々の名シーンで深い感動を呼ぶ。

過去にグランプリを受賞して87年カンヌ映画祭へは審査外の参加だが、コンクール参加だったならグランプリは間違いなかったと、映画祭で最高の絶賛と惜しまない拍手を浴びた。

パオロとヴィットリオ・タヴィアーニ兄弟は、ふたりでひとりのように、どの作品もふたり以上の力量で完成する。イタリア流に名の短かいパオロを先に呼ぶが、パオロは弟で2才上のヴィットリオが兄。この映画の発端の、ピサの聖堂のあるトスカナ地方の出身で、フェリーニやベルトルッチとならんで、今や世界の代表作家だ。「グッドモーニング・バビロン!」は長篇第11作。

グッドモーニング・ハリウッド!

主人公の兄弟ニコラとアンドレアが、ロマネスク建築の黄金の腕をもって到着する20世紀文明のバビロン、誕生期のハリウッド。

優雅なハリウッド・ファッションの光につつまれて、若き巨匠グリフィスは、史劇超大作で世界を圧倒していたイタリア映画を超える意欲に燃えて、世界映画史に残る超大作「イントレランス」を準備している。

「イントレランス」は今に残る映画史上空前の野心的な傑作。大河の流れのように、現代、ユダヤ、中世フランス、バビロンの四つの時代の不寛容の歴史をクロス・エディット(平行編集)で描いたが、主人公兄弟は、バビロン宮殿の象をつくるイタリア人美術スタッフとして、実話に基づいて登場する。



グッドモーニング・バビロン!
イタリア中北部トスカナ地方。ボナンノ・ボナンニ親方と7人の息子たちと職人たちが修復をおえるロマネスク建築の「奇跡の聖堂」の美しい姿から物語は始まる。今世紀のはじめの頃。

ニコラとアンドレア、黄金の腕を継ぐ末の兄弟ふたりは父ボナンノから、いかなる時にもふたりは平等であれ、それを忘れればふたりは血で血を争う敵となる、とのいましめを受けてアメリカへ、そしてハリウッドへ。

エドナとメイベル。スターを夢みながらエキストラで夢をみかかっている美しいふたりに出あい、グリフィス監督にみとめられて幸福の絶頂に達するニコラとアンドレア。しかし世にも不幸ないさかいがふたりの兄弟を裂き、再会するのは戦場だ。



【スタッフ】
監督・脚本……………パオロ&ヴィットリオ・タヴィアーニ
脚本協力……………トニーノ・グエッラ
撮影……………ジュゼッペ・ランチ
美術……………ジャンニ・ズパツァ
衣裳……………リーナ・ネルリ・タヴィアーニ
音楽……………ニコラ・ピオヴァーニ
編集……………ロベルト・ベルビニャーニ
合作プロデューサー(フランス)
……………マリオン・カルミツ
エグゼクティブ・プロデューサー
……………エドワード・プレスマン
製作……………ジュリアーノ・G・デ・ネグリ

【キャスト】
ニコラ……………ヴィンセント・スパーノ
アンドレア……………ジョアキム・デ・アルメイダ
エドナ……………グレッタ・スカッキ
メイベル……………デジレ・ベッケル
ボナンノ……………オメロ・アントヌッティ
グリフィス……………チャールズ・ダンス
イタリア映画(伊仏米合作)1987年
FILMTRE+RAI+MK2+FILMS A.2+
EPFC製作/SACIS世界提供/イーストマン
カラー/ヴィスタサイズ(1x1.66)/1時間58分
全6巻3200m/日本語版字幕・戸田奈津子
©RAI+EPFC 1986

タヴィアーニ兄弟の、戦場で焼きはらわれた美しい聖堂の記憶と、映画の父グリフィスにはじまるすばらしいハリウッド映画への限らないオマージュと、主人公兄弟の姿にコミュニケーションを投影して、「グッドモーニング・バビロン!」は、タヴィアーニ兄弟監督作品のひとつの集大成となる傑作だ。

ニコラ役のスパーノは、「ランブルフィッシュ」や、「マリアの恋人」のあのスバイノだが、別人の新鮮さで驚かされるのではなないだろうか。アンドレアのアルメイダ、エドナのグレッタ・スカッキ、メイベルのデジレ・ベッケルは日本初登場だがういういしく実力十分のスターたち。

父のアントヌッティ、グリフィス役のチャールズ・ダンス、そして音楽のピオヴァーニらの素晴らしい紹介するまでもない、ご覧下さい。

10月9日(金)よりオープニングロードショー!

特別鑑賞券1200円絶賛発売中
(当日一般1500円、大・高生1300円のところ)

●お求めは、日劇・日比谷スカラ座・日比谷映画・みゆき座・ニュー東宝シネマ1
有楽シネマ・新宿プラザ・渋谷東宝・上野東宝各劇場窓口にて

日比谷・東宝映画街

シヤンテシネ1

●お問合せは10/7まで(591)4393。10/8以降は(591)1511へ。
●上映時間

☆10:35 連日 1:00 3:25 5:50 8:15 (終映10:25)

☆10:35AMの回は10/10(祝)より連日11/8(日)まで、及び11/15(日)以降の日・祝のみ。10/9(金)初日は、開場イベントの後、1:00の回より上映。